

を讀もう!

ことがあるかな?
戦争のお話など、

鶺よ、清流にはばたけ

角田 菜穂子・作 鴫田 幹・画 岩崎書店



〈水浴びをする鶺〉

鶺匠の家に生まれた吉夫は、かしく勇氣のある鶺のクロ丸と共に、鶺飼の技を身につけ立派に成長していく。

必死に生きる鶺、鶺と鶺匠のあたたかい心のやりとりに感動するよ!



感想いろいろ



「鶺よ、清流にはばたけ」

私は長良川の近くに住んでいるので鶺飼は身近な存在です。また、総合的な学習の時間に鶺飼について勉強したので、鶺飼のことはよく知っているつもりでした。

でも、この本を読んで鶺匠さんをはじめ鶺飼に関わる人たちの鶺への強い思いを初めて知りました。大切に育てていたシロ丸を殺され、どなりつけた吉夫の姿、クロ丸がけがをした時に必死で助けようとした吉夫とその家族の姿に、私は心を打たれました。
長良小学校 6年 宇野 友佳子さん

「ルドルフとイッパイアッテナ」

岐阜に帰ってしまう「ルドルフ」に牛肉を食べさせてあげようと敵である犬の「デビル」の言うことを聞いた「イッパイアッテナ」。その姿から「イッパイアッテナ」の勇かさややさしさを感じました。また、「ルドルフ」も「イッパイアッテナ」のためにかたきをとりに行くなんで、やさしさを持っていると思います。人間顔負けのすばらしいネコの友情に感動しました。
金華小学校 4年 白井 裕子さん

「先生たいへん事件です」

ぼくは、四年生の時、動物経営でにわとりの世話をしていた。だから、アキが言った「どの動物にも命があります。」という言葉に、ぼくは、弓で心をうたれたような気持ちになった。

えさが買えなくなった時、四年三組の子どもたちはすぐに話し合い、よりよい方法を見つけ出した。一生けん命ボスの口をあけて舌があるか無いかを調べた。動物達を思いやる気持ちから表れる行動や考えに、感動した。

岐阜大学附属小学校 5年 森崎 栄紀さん

「サワグルミのおじいさん」

このサワグルミの木は、明德小学校の前にあります。サワグルミの木は、今年で273歳になります。

この「サワグルミのおじいさん」という本には、サワグルミの木が「わしは…」などと言ってまわりに住んでいる人の事や台風の事や戦争の事など、いろいろな話がでできます。

この本を読んでサワグルミの木の事がよくわかりました。興味のある人は一度読んでみてください。とてもおもしろいです。

明德小学校 6年 渡邊 れい子さん

「雨のにおい 星の声」

目の不自由な人は、体全体が目なんだと分かりました。雨がふっている日は、耳と鼻で「雨がふっているな」と分かったり、動物は手でさわって形をつくったりしています。道を歩く時には周りの人の声を聞いて道を渡ったり、風の向きで曲がり角を曲がったりしています。足で「この道はごつごつしているな」「なめらかだな」と感じています。

目の不自由な人は、見えない分、体で感じて、私たちより色んな事を知っているのかなと思いました。
京町小学校 6年 平田 絵美さん

「芽ふけ ミヤコよ」

B29に焼夷弾攻撃をされ、西野町や本郷町が焼け、都通りまで燃えてしまった。この町がそんなに大変だったなんて――。

愛する家族を一度になくすなんて、一生消しても消しきれない悲しみ、あきらめることのできないやさしさでいっぱいだろう。

1本だけ焼け残り、翌年には新しい芽を吹いた「都木」は、わたしたちの校区にある。それを見て、今、戦争にまきこまれることのないよう、自分の目で見て、自分で判断をして生きていきたいと思う。
本郷小学校 6年 石田 有里さん



長良橋

〈ルドルフが見た
岐阜の景色〉

金華山ロープウェイ乗り場

ルドルフとイッパイアッテナ

斉藤 洋・作 杉浦 範茂・絵 講談社



金華山ロープウェイの近くに住んでいた黒猫「ルドルフ」がひょんなことから東京にいてしまう。そこで出会ったトラネコ「イッパイアッテナ」から、様々な知恵を学ぶ。

ラストは、ネコ同士の友情に胸が熱くなるよ!

先生たいへん事件です

岸 武雄・作 坪谷 令子・画

金の星社 絶版



小鳥やニワトリの世話をする4年3組の子どもたち。「先生たいへん事件!」という声と共に、今日も楽しい勉強が始まった。

4年3組の子どもたちはワイワイガヤガヤ話し合い。「いのち」について考えさせられるよ。